



ごあいさつ

院長 貝嶋 光信

暦の上では立春も早過ぎ、2月も終わろうとしています。改めて月日の経つ速さに驚かされます。さて私ごとですが、最近人の顔を見て誰だかは分かるのに名前が出てこないことが時にあり、「これが歳を取ると言うことか」と半分納得していたところ、NHKのチコちゃん（5歳）が「顔は分かるけど名前が出てこないのはなぜだかわかる--？」とやっていました。それによると人は色々な人の顔を瞬時に記憶し、脳に蓄積しますが、これは右脳の側頭葉に蓄えられ、その容量は無尽蔵に近いそうです。一方名前を覚えるのは左の側頭葉でこちらの容量は限界があるのだとか。向こうからやってきた人の顔を見て瞬時に「顔記憶」の脳にアクセスしてこれを認識しますが、名前を思い出すにはこれを左脳の「名前記憶」の脳に照合しなければならない。例の症状はこれが滞る為で、長生きするほど顔記憶と名前記憶のギャップが目立つようになるそうです。名前が出てこなくても、相手の人が自分とどういう繋がりの人か理解出来ていれば認知症ではないとか。チコちゃんに感謝！



恵み野地区 健康教室と交流会

2月14日に恵み野憩の家で開催された「恵み野地区むつまじい健康教室と交流会」の第一部として、当院腎・高血圧内科の日高 輝夫医師と、薬剤部の千葉 亮太薬剤師が講演を行いました。



恵み野病院消化器内科紹介

消化器内科 林健児

消化器内科は常勤医4名と大学病院から派遣の非常勤医師で、外来、内視鏡検査、入院診療を行っています。

消化管の疾患では胃癌、大腸癌、胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン病、大腸ポリープ、肝臓の疾患では肝癌、肝硬変、急性・慢性肝炎、膵臓の疾患では膵臓癌、膵嚢胞、急性・慢性膵炎、胆嚢に疾患では胆嚢癌、胆石症、胆嚢炎、胆嚢ポリープなど様々な病気を治療しています。

<外来>

平日の午前・午後開いています。消化管疾患の定期診察、また急な腹痛など消化器症状を有する患者さんの診察をしています。外来での抗がん剤治療は3階の化学療法室で行っています。

<病棟>

急性期は3階にある消化器内科・消化器外科合同病棟で、慢性の患者さんは4階にある地域包括ケア病棟に入院して頂いています。

<内視鏡センター>

胃カメラや大腸カメラ検査はもとより、超音波内視鏡（EUS）、内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）で胆膵疾患の診断や治療も行っています。またカプセル内視鏡やバルーン内視鏡を用いて小腸病変に対し検査や治療を行うこともできます。早期胃癌、大腸癌に対して低侵襲である内視鏡的粘膜剥離術（ESD）、緊急の吐血、下血といった消化管出血に対し内視鏡を用いた止血術もしています。

<活動実績 H29年度>

上部内視鏡検査：2984件、下部内視鏡検査：1965件、小腸カプセル内視鏡検査：14件、大腸ポリープ粘膜切除術（EMR）：558件、内視鏡的粘膜剥離術（ESD）：63件



3階病棟

内視鏡センター



病院敷地内禁煙のお知らせ

当院の病院建物内および駐車場、通路を含む敷地内での喫煙は禁止となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

